

令和7年度 岡山県高等学校PTA指導者研修会 参加報告

日 時：11月12日(水)

場 所：ピュアリティまきび

参加者：約170名

【第1部】 情報交換・ワークショップ

参加者は複数のグループに分かれ、事前に提出された「PTA紹介シート」を基に、各校の取り組みについて発表・情報交換を行いました。

どの学校も独自の工夫を凝らした活動が多く、大変参考になりました。

【第2部】 講演会

『青少年健全育成について』 講師：岡山県警察本部 健全育成対策室 課長補佐 森重裕治 氏

森重氏は元中学校教員であり、学校現場・警察・保護者の経験を踏まえた立場から、連携の重要性について語られました。特に、スマホ・SNSトラブル、近年ニュースで取り上げられる「闇バイト」の問題を、実際のネット広告の例を示しながら解説。大人でさえ判断が難しい巧妙な言葉で勧誘されるケースも多く、改めて情報リテラシー教育の必要性を痛感する内容でした。

◇講演後、家庭や学校ができることについてグループ討議を実施。下記のような意見が挙がりました。

- 家庭での指導は難しい
- 親子の会話ができているかが大きい
- 家庭環境による格差が大きい
- 性教育同様、学校での体系的な指導が有効ではないか

どの家庭も同じ壁に向き合っていることを再確認しました。

【岡山県教育委員会より】

研修冒頭では、県教育委員会より以下の内容について説明がありました。

- PTAの目的・役割
- PTA活動の種類（集う・支える・つながる・学び合う）
- 個人情報保護の取り扱い 等

特に、PTA会費がどのように使われているか、**わかりやすい資料づくりと適切な情報提供が必要**であると感じました。当校PTAも次年度に向けてより良い資料を作成できるよう検討を重ねていきます。

まとめ

他校の取り組みや現場の生の声に触れ、PTA活動の可能性や課題について多くの気づきを得ることができ、大変有意義な研修会でした。当校PTAも「**できるときに、できる人が**」を第一に活動しています。

（作成者：清水 由美）